様式１０

随意契約見直し計画

平成 19 年 12 月
独立行政法人港湾空港技術研究所

１．随意契約の見直し計画

（１）平成１８年度において、締結した随意契約について点検・見直しを行い、以下のとおり、随意契約によることが真にやむを得ないものを除き、直ちに一般競争入札等に移行するものとし、平成１９年度から全て一般競争または企画競争等に移行することとした。

【全体】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額（百万円）	件数	金額（百万円）
事務･事業を取り止めたもの（18年度限りのものを含む。）				（　%）	（　%）
一般競争入札等	競争入札			(57%) 70	(33%) 315
	企画競争	(3%) 4	(3%) 29	(36%) 45	(58%) 545
随意契約		(97%) 120	(97%) 913	(7%) 9	(9%) 82
合　計		(100%) 124	(100%) 942	(100%) 124	(100%) 942

（注１）見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの
（注２）金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額（百万円）	件数	金額（百万円）
事務・事業を取り止めたもの（18年度限りのものを含む。）				（　%）	（　%）
一般競争入札等	競争入札			（7%） 1	（1%） 5
一般競争入札等	企画競争	（7%） 1	（4%） 9	（93%） 14	（99%） 409
随意契約		（93%） 14	（96%） 405	（　%） 0	（　%） 0
合　計		（100%） 15	（100%） 414	（100%） 15	（100%） 414

（注１）見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの
（注２）金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

【同一所管法人等以外の者】

		平成18年度実績		見直し後	
		件数	金額（百万円）	件数	金額（百万円）
事務・事業を取り止めたもの（18年度限りのものを含む。）				（　%）	（　%）
一般競争入札等	競争入札			（63%） 69	（59%） 310
一般競争入札等	企画競争	（3%） 3	（4%） 20	（29%） 31	（26%） 136
随意契約		（97%） 106	（96%） 508	（8%） 9	（15%） 82
合　計		（100%） 109	（100%） 528	（100%） 109	（100%） 528

（注１）見直し後の随意契約は、真にやむを得ないもの
（注２）金額は、それぞれ四捨五入しているため合計が一致しない場合がある

（２）随意契約の公表の基準について、以下のとおり改正することとした。

・　随意契約に係る予定価格、落札率及び再就職の役員の数を公表することとした。

２．随意契約見直し計画の達成へ向けた具体的取り組み及び移行時期

平成１９年度から、既に企画競争、公募型及び一般競争にしたところであるが、更に以下の措置を講じ、平成２０年１月以降、総合評価方式を導入していく。なお、公募型に移行したものについても一般競争への移行が可能かどうかを照査しつつ業務を進める。

（１）総合評価方式の導入拡大

①　総合評価方式による一般競争入札については、平成１９年度において実験施設の整備において試行を行っている。その結果も踏まえて、企画競争、公募型、総合評価方式による一般競争入札、一般競争入札の選定に関するガイドラインを策定する。

②　総合評価方式による一般競争入札マニュアルの作成

総合評価方式による一般競争への移行を支援するための業務マニュアルを作成し、仕様書の作成や予定価格の設定等の各種入札手順を具体的に示す。

（平成２０年３月を目途に作成予定）

③　実施機関

上記の措置を契約事務合理化委員会（※）において行う。

※平成１８年７月に港湾空港技術研究所に設置され、特別研究官を委員長とする委員会であり、契約事務の合理化について検討するもの。

（２）複数年度契約の拡大

派遣契約や研究開発及びシステム関連等の複数年度にわたる契約については、契約期間を精査した上で、初年度に価格競争を行い複数年契約へ移行する。

（３）入札手続きの効率化

一般競争入札の公告方法について、入札公告の他、仕様書及び入札説明書等を電子媒体により配布する方法を、検討する。

３．その他